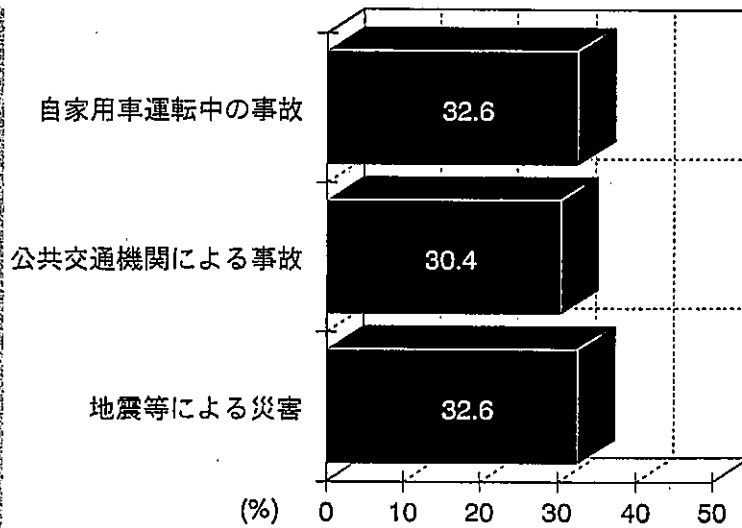
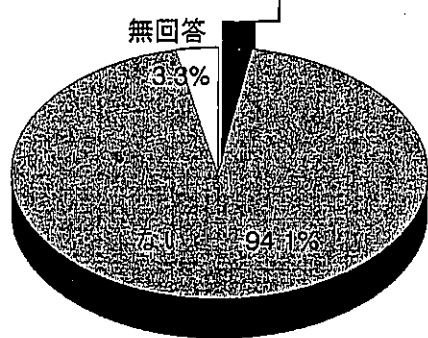


1 遭遇した事故の形態

Q 帰省または赴任地に戻る際に遭遇した事故の形態（現在および過去に在籍していた会社）（複数回答）

事故遭遇の有無

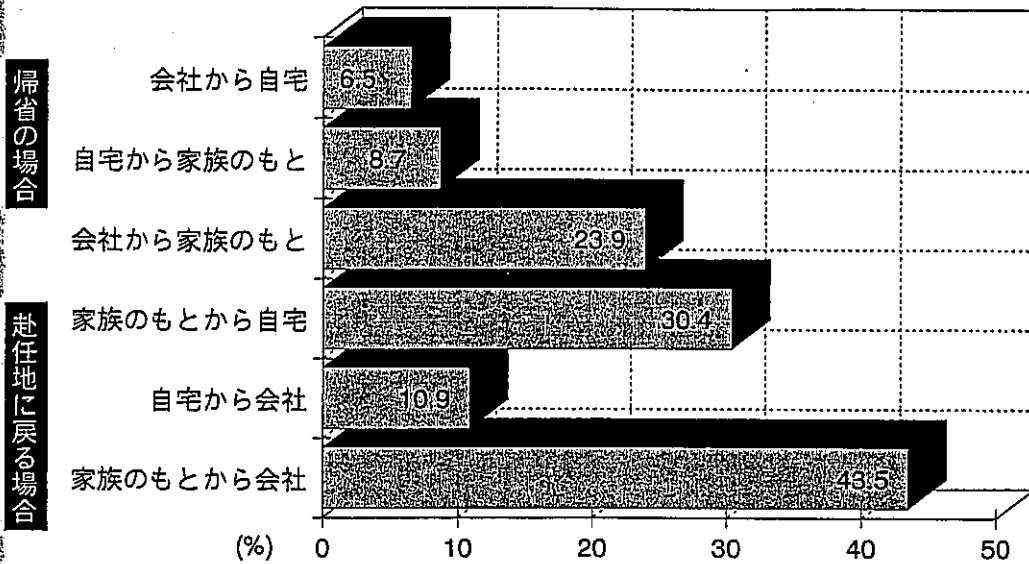


これまでに、帰省または赴任地に戻る際に休業を必要とするほどの事故に遭遇したことがある2.6% (46件)を100として、「自家用車運転中の事故」、「公共交通機関による事故」、「地震等による災害」の事故(災害)に遭遇した割合である。

「自家用車運転中の事故」と「地震等による災害」が同率で、それぞれ32.6% (15件)、「公共交通機関による事故」が30.4% (14件)であった。

12 どのような経路上で事故に遭遇したか

Qどのような経路上で事故に遭遇しましたか？(複数回答)



これまで、帰省または赴任地に戻る際に休業を必要とするほどの事故に遭遇したことがある46件を100として、「帰省の場合」(18件)、「赴任地に戻る場合」(39件)のそれぞれの経路上での事故(災害)に遭遇した割合である。

「帰省の場合」の経路の内訳は、「会社から家族のもと」が11件(23.9%)、「自宅から家族のもと」が4件(8.7%)、「会社から自宅」が3件(6.5%)であった。

「赴任地に戻る場合」の経路の内訳は、「家族のもとから会社」が20件(43.5%)、「家族のもとから自宅」が14件(30.4%)、「自宅から会社」が5件(10.9%)であった。

「帰省の場合」、「赴任地に戻る場合」とも、「会社～家族のもと」間を直結して(自宅を経由しないで)移動した場合に、もっとも多く事故(災害)に遭遇する割合が高いことが伺える。